

## 平成 26 年度第 1 回おおいた子ども・子育て応援県民会議説明資料

- ① 「新おおいた子ども・子育て応援プラン」 の評価について



# 大分県次世代育成支援後期行動計画(新おおいた子ども・子育て応援プラン)の体系及び推進態勢

安心・活力・発展プラン  
2005改訂版

新おおいた  
子ども・子育て応援プラン

## 「子育て満足度日本一の実現」

○根拠法: 次世代育成支援対策推進法第9条    ○計画年度: 22年度～26年度

子どもの笑顔をはぐくみ、未来を拓く大分県

(1)安心して子どもを産み育てられる社会の実現 (2)子どもが心身ともに健やかに育つ社会の実現

①子どもの成長と子育てをみんなで支える意識づくり

②地域における子育ての支援

③子育ても仕事しやすい環境づくり

④きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

⑤子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり

⑥子どもの生きる力をはぐくむ教育の推進

⑦子どもにとって安心・安全なまちづくり

めざす姿

2つの基本目標

7つの基本施策

評価

(1)個別事業ごとの評価  
(40項目)

(2)総合的な満足度の評価  
(14項目)

推進態勢

県民の声

組織間連携

### おおいた子ども・子育て応援県民会議

根拠: おおいた子ども・子育て応援県民会議条例  
目的: 子ども・子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進等  
構成員: 子どもの保護者、子ども・子育て支援に関する事業に従事する者、子ども・子育て支援に関し学識経験のある者、その他 (25～26年度 28名)

### 大分県次世代育成支援対策推進会議

目的: 次世代育成支援対策の総合的効果的な実施  
構成員: 関係部局長、教育長、警察本部長  
会長: 副知事

### 連絡会議

目的: 推進会議の円滑な運営  
構成員: 兼務・併任主幹

各事業課室による事業の企画・推進

→ 数値目標等に対する進行状況の報告・公表

「新おいた子ども・子育て応援プラン」 個別事業ごとの評価 (数値目標)

※太字は目標達成をしている指標

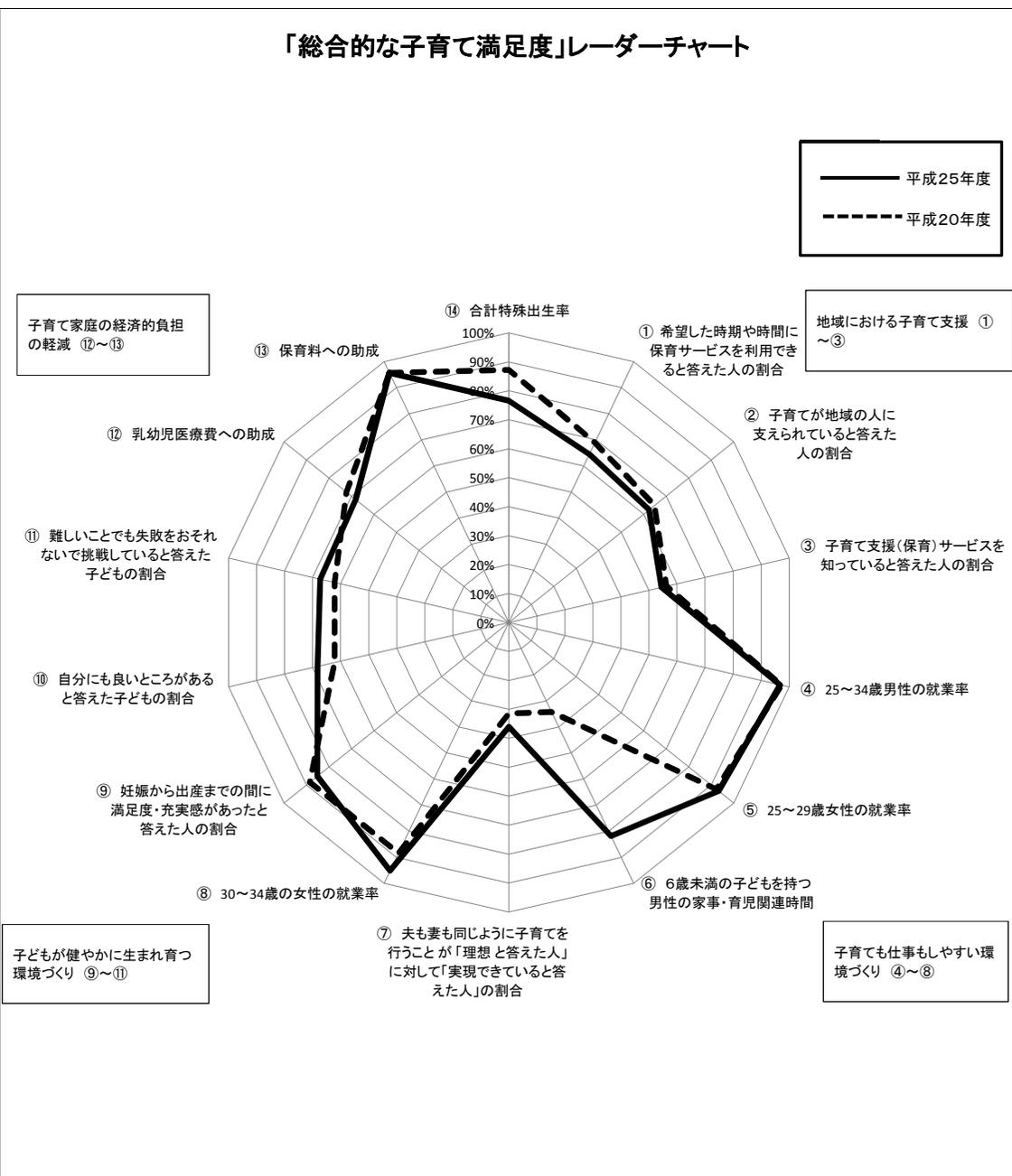
基本施策	No.	指 標	平成26年度 目標値	平成21年 3月末時点	平成26年 3月末時点	進 捗
1 意識づくり	1	体験的参加型による人権学習を実施した学校の割合	100.0%	83.0%	99.0%	↗
	2	地域子育て支援拠点	71か所	54か所	66か所	↗
	3	「ファミリー・サポート・センター事業」実施市町村	12市町村	6市町	10市町村	↗
2 地域における子育ての支援	④	一時預かり実施保育所	135か所	133か所	145か所	↗
	⑤	預かり保育を実施している幼稚園の割合	61.0%	56.0%	75.8% (24年度)	↗
	⑥	「ショートステイ事業」実施市町村	8市町	4市町	8市町	↗
	⑦	「トワイライトステイ事業」実施市町村	5市町	3市町	5市町	↗
	⑧	放課後児童クラブ	264か所	223か所	271か所	↗
	⑨	延長保育実施施設	189か所	169か所	199か所	↗
	10	休日保育実施施設	20か所	17か所	17か所	→
	11	特定保育実施施設	37か所	4か所	35か所	↗
	12	病児・病後児保育実施施設	22か所	10か所	15か所	↗
	13	夜間保育実施施設	1か所	0か所	0か所	→
	14	ホームページ「子育てのタネ」アクセス件数	70,000件	17,874件	累計60,496件 (25年度6,407件)	↗
	⑮	見守りなどの小地域ネットワーク組織が設置された自治会数	2,300団体	1,630団体	2,715団体	↗
3 子育ても仕事もしやすい環境づくり	16	育児休業制度の規定を設けている企業の割合	80.0%	69.3%	75.9%	↗
	⑰	PTAに父親部がある小・中学校の割合	40.8%	34.8%	46.6%	↗
	⑱	「ジョブカフェおいた」における新規求職者就職率	45.0%	42.5%	63.2%	↗
4 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	⑲	里親委託率	19.0%	15.3%	28.1%	↗
	⑳	「ファミリーホーム」か所数	6か所	0か所	12か所	↗
	㉑	児童養護施設における「基幹的職員」数	14人	0人	14人	↗
	㉒	「地域小規模児童養護施設」か所数	4か所	1か所	6か所	↗
	23	「児童家庭支援センター」か所数	3か所	2か所	2か所	→
	24	「自立援助ホーム」か所数	2か所	1か所	1か所	→

基本施策	No.	指 標	平成26年度 目標値	平成21年 3月末時点	平成26年 3月末時点	進 捗
4 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	㉔	「児童デイサービス事業所」か所数	24か所	16か所	23か所 (23年度末制度廃止)	-
	(参考)	放課後等デイサービス事業所箇所数	48か所	-	51か所	↗
	26	特別支援学校教諭免許状の保有率(小・中学校における特別支援学級担当教諭)	90.0%	26.7%	37.4%	↗
	27	不登校児童生徒の割合(小学校)	0.25%	0.32%	0.31% (24年度)	↗
	28	不登校児童生徒の割合(中学校)	2.10%	3.01%	3.07% (24年度)	↘
	29	「養育支援訪問事業」実施市町村	18市町村	8市町	13市町村	↗
	㉓	10代の人工妊娠中絶件数	低下	297件	232件 (24年)	↗
	㉕	妊娠しているとわかった時の女性の喫煙率	低下	19.0% (17年)	14.1%	↗
5 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	㉖	3、4か月児のいる父親の喫煙率	低下	48.4% (17年)	45.5%	↗
	33	朝食を毎日食べるようにしている児童生徒の割合(小5)	95.0%	93.0%	91.4%	↘
	34	朝食を毎日食べるようにしている児童生徒の割合(中2)	95.0%	91.1%	89.5%	↘
	35	授業がわかると感じている児童生徒の割合(小5/4教科)	88.0%	82.1%	83.4%	↗
6 子どもの生きる力をはぐくむ教育の推進	36	授業がわかると感じている児童生徒の割合(中2/5教科)	68.0%	63.4%	61.0%	↘
	37	福祉施設一日訪問体験に参加した高校生の数	延4,200人	691人 (20年度)	延べ3,626人 (25年度796人)	↗
	㉗	幼稚園と小学校の連携体制を整備した市町村の割合	100.0%	55.6%	100.0%	↗
	39	子育て世帯の誘導居住面積水準達成率	50.0%	43.0% (15年度)	41.0% (20年度)	↘
7 子どもにとって安心安全なまちづくり	㉘	法指定通学路における歩道等整備率(市町村道を除く)	71.0%	64.0%	71.9%	↗

# 「新おおいた子ども・子育て応援プラン」総合的な評価指標

総合的な子育て満足度の主要な事項		指標	平成26年度目標値	平成21年3月末時点	最新値	進捗	現況値の出典
地域における子育て支援	(1) 子育て家庭が出産や子育てに楽しさや充実感を感じることができる	① 希望した時期や時間に保育サービスを利用できたと答えた人の割合(就学前児童を持つ親)	100.0%	68.9%	64.5%	↓	平成25年度子ども・子育て支援事業計画のための実態調査(市町村調べ)
		② 子育てが地域の人に支えられていると答えた人の割合(就学前児童・小学生を持つ親)	100.0%	64.8%	62.4%	↓	
	(2) 子育て支援サービス情報の提供	③ 子育て支援(保育)サービスを知っていると答えた人の割合(就学前児童を持つ親)	100.0%	56.2%	54.5%	↓	
子育ても仕事もしやすい環境づくり	(3) 子育て世代が安定した生活を送ることができる	④ 25~34歳男性の就業率	94.0%	91.4% 全国27位	91.0% 全国17位	↓	平成24年就業構造基本調査
		⑤ 25~29歳女性の就業率	78.4%	72.4% 全国32位	73.2% 全国34位	↑	
	(4) 夫婦がともに、家事や育児に関わることができる	⑥ 6歳未満の子どもを持つ男性の家事・育児関連時間	1時間45分	36分 全国47位	1時間26分 全国7位	↑	平成23年社会生活基本調査
		⑦ 夫も妻も同じように子育てを行うことが「理想と答えた人」に対して、「実現できていると答えた人」の割合(就学前児童・小学生を持つ親)	100.0%	31.4%	36.0%	↑	平成25年度子ども・子育て支援事業計画のための実態調査(市町村調べ)
	(5) 女性が子育てしながら働き続けられる	⑧ 30~34歳女性の就業率	72.4%	64.0% 全国29位	68.9% 全国28位	↑	平成24年就業構造基本調査
子どもが健康な環境づくりに	(6) 子どもが心身ともに健康に育つことができる	⑨ 妊娠から出産までの間に満足度・充実感があったと答えた人の割合(就学前児童・小学生を持つ親)	100.0%	88.6%	85.2%	↓	平成25年度子ども・子育て支援事業計画のための実態調査(市町村調べ)
		⑩ 自分にも良いところがあると答えた子どもの割合(中学3年生)	100.0%	62.2% 全国19位	68.2% 全国16位	↑	平成25年度全国学力・学習状況調査
		⑪ 難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していると答えた子どもの割合(中学3年生)	100.0%	62.2% 全国25位	67.3% 全国26位	↑	平成25年度全国学力・学習状況調査
子育て担家の経済的負担を軽減する	(7) 経済的負担が軽減される	⑫ 乳幼児等の医療費への助成	全国トップレベル	全国14位	全国16位	↓	平成26年度大分県健康対策課調べ
		⑬ 保育料への助成	全国トップレベル	全国3位	全国3位	→	平成26年度大分県子ども子育て支援課調べ
(8) 少子化の進行が抑制される	⑭ 合計特殊出生率	全国トップレベル	全国7位	全国12位	↓	平成25年人口動態統計月報年計(概数)	
<b>達成率</b>				<b>71.6%</b>	<b>74.7%</b>	↑	

## 「総合的な子育て満足度」レーダーチャート



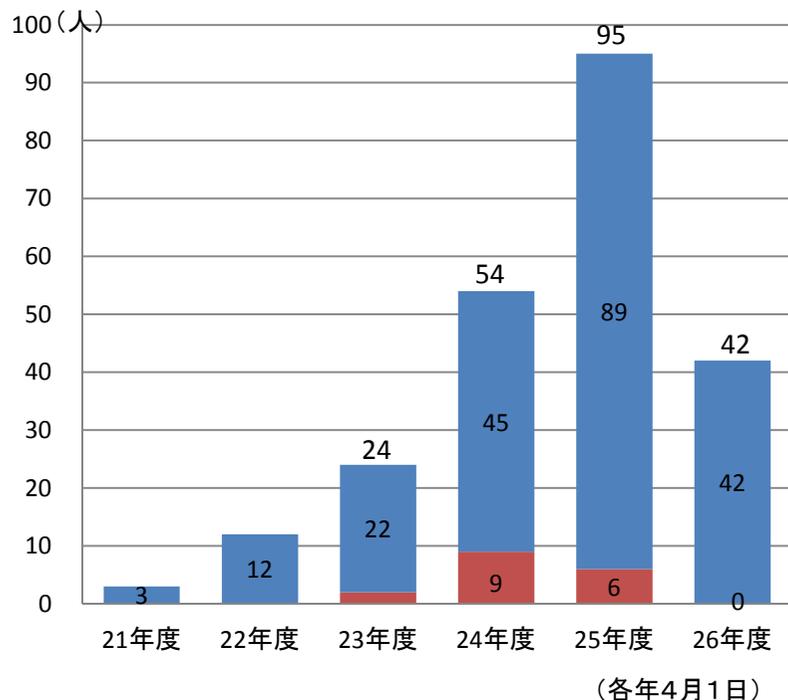
# 「子育て満足度日本一」の実現に向けた主な取り組みについて

## 1 「待機児童ゼロ」に向けた保育所整備の促進

- 保育所の定員増を加速化したこと等により、待機児童の増加傾向は反転。
- 遅くとも平成29年度末までに、県内すべての市町村で「待機児童ゼロ」を目指す。

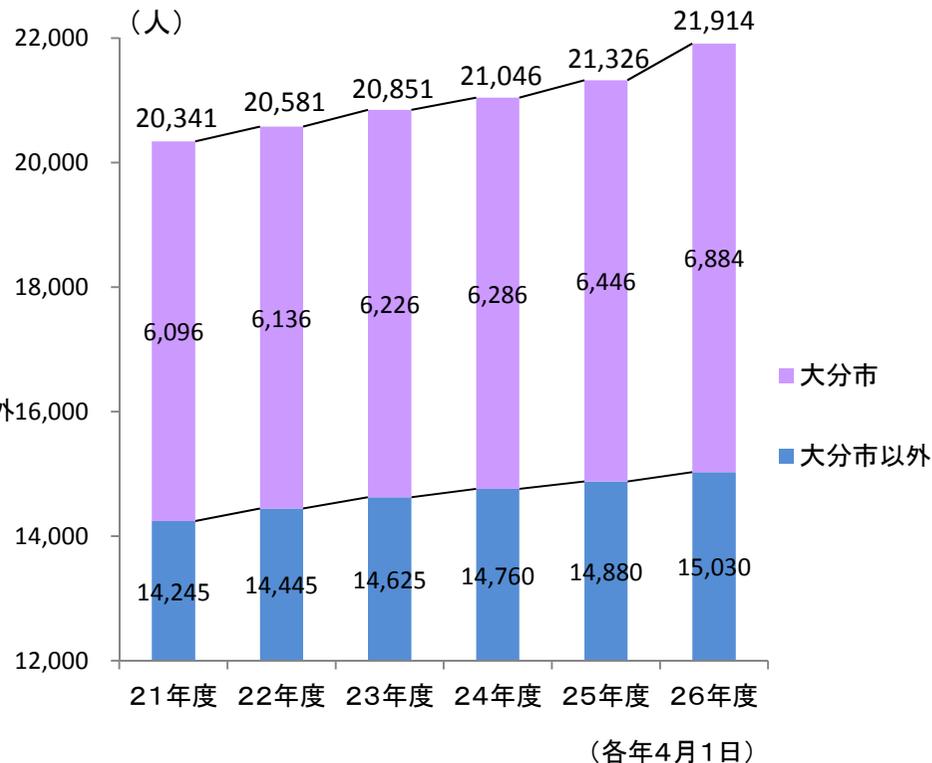
(保育所入所待機児童数)

21年度 3人 → 26年度 42人(39人増)



(保育所入所定員)

21年度 20,341人 → 26年度 21,914人(1,573人増)



## 2 地域における子育て支援の充実

- 訪問型の子育て支援や、「いつでも子育てほっとライン」の充実に取り組んできた。
- 子育ての気運醸成とサービスの周知を図るため、今年度の新規事業として「子育て応援キャンペーン」を実施。(マスコミからの広報、全国子育て広場セミナー開催、子育てガイドブックの作成)

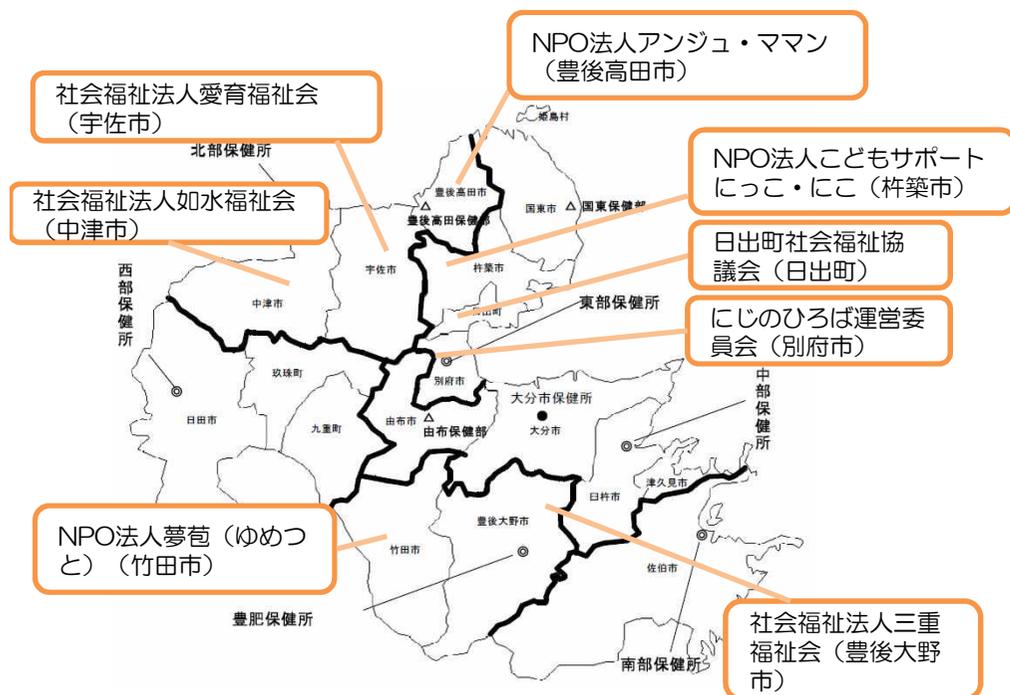
(ホームスタート(家庭訪問型子育て支援事業))

(いつでも子育てほっとライン)

8団体のボランティアが活動中

22年度 1,314件 → 25年度 3,147件(1,833件増)

これまでに83家庭に延べ713回訪問(H25.12.31)



・子どもや子育ての悩みや不安・

# ひとりで悩まず まずは相談!

子どもが全然言う事を聞いてくれない…

他の子はできるのに、なぜうちの子は…

イライラしてつい叩いてしまう。これって虐待?

子どもがきちんとできないのは、私のしつけが悪いの?

子育てに関する不安や悩みは、誰であれば誰でも抱えているものです。でも、仕事が忙しくて相談する時間がなかったり、身近に相談できる人がいないなどの理由で、一人で悩みを抱え込んでしまうお母さん、お父さんも少なくありません。子育てのストレスが、子どもへの虐待を引き起こす場合もあります。どんな些細なことでも構いません。子育てに悩んだときは、ひとりで悩まず、まずは相談してください。子育てに頑張るお母さん、お父さんを応援します。

いつでも子育て **ほ**っとライン

こども子育て **ほ**っとライン

0120-462-110

専門の電話相談員が24時間365日相談に応じます。

育児、しつけ、子どもの問題行動、発達の問題、不登校や非行など、子育てに関するあらゆる不安や悩みをご相談ください。(相談内容の秘密は守られます。)

### 3 男性の子育て参画の促進

- 意識啓発や企業への働きかけにより、男性の家事・育児時間は大幅に上昇。
- 平成25年度からは、大学生や高校生に対してライフデザインを考える機会を提供する「次代の親づくり事業」を実施。

(6歳未満の子どもを持つ男性の家事・育児関連時間)

(次代の親づくり推進事業)

平成18年 36分 → 平成23年 86分(50分増)

啓発マンガ冊子を県内全ての大学、専門学校、高校に配布。県立高校では、26年度、家庭科副読本として活用。

#### ○主な取組

- ・おおいたパパクラブの立ち上げ支援
- ・プレパパスクール、パパイベントの開催  
(市町村の取組支援)
- ・パパの子育て応援月間(8月)の設定
- ・仕事と子育て両立支援モデル企業の指定



男から父親へ。  
あなたの「育児宣言」を応援します。



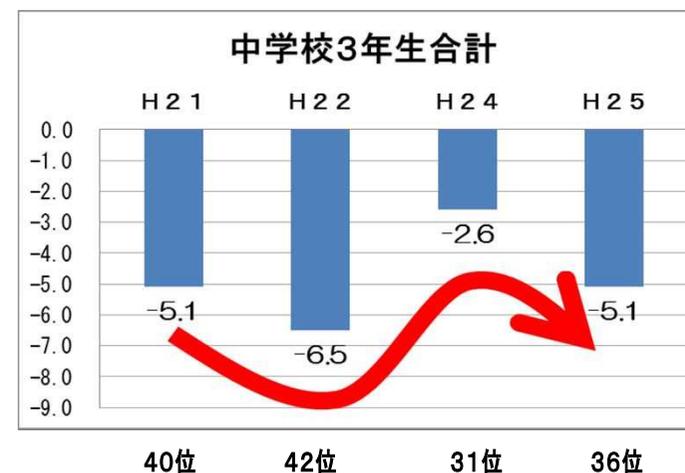
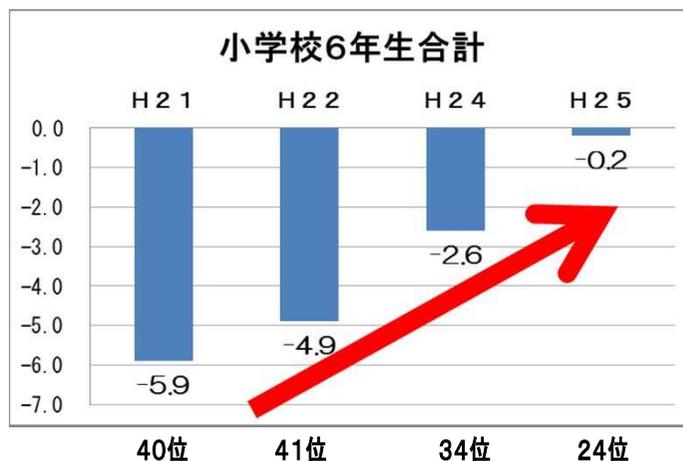
男性の子育て講座「おおいたパパクラブ」



## 4 子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進

- 子ども達の学力向上のため、放課後・土曜日等における子どもの学びや家庭教育を支援するとともに、体力向上に向けた一校一実践等の取組を実施。
- 平成25年の全国学力・学習状況調査では、小学校が24位、中学校が36位となり、小学校は過去最高順位。
- 全国体力・運動能力等調査では、小中学校とも過去最高順位になり、小学校男子は九州トップ。

全国学力・学習状況調査における大分県と全国との差(平均正答率)



## 5 子育て世帯の経済的負担の軽減

○ 市町村とも連携し、子ども医療費の助成と保育料の助成により子育て世帯の経済的負担を軽減。

(子ども医療費助成)

・未就学児の通院・入院医療費自己負担  
無料市町村数

平成21年度 **14市町村** → 平成25年度 **18市町村**

・小・中学生の入院医療費自己負担  
無料市町村数

平成22年度 創設 → 平成25年度 **16市町村**



(3歳未満児の保育料助成)

【認可保育所】

・第2子半額

平成21年度 **11市町** → 平成25年度 **11市町**

・第3子以降全額

平成21年度 **17市町村** → 平成25年度 **17市町村**

【認可外保育施設】

・第2子半額(上限あり)

平成21年度 **2市** → 平成25年度 **4市**

・第3子以降全額(上限あり)

平成21年度 **3市** → 平成25年度 **6市**

